



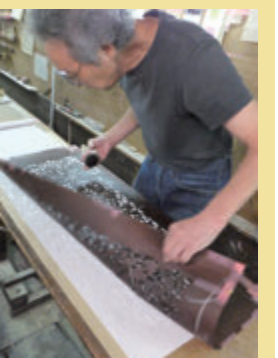
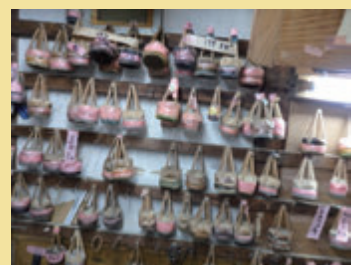
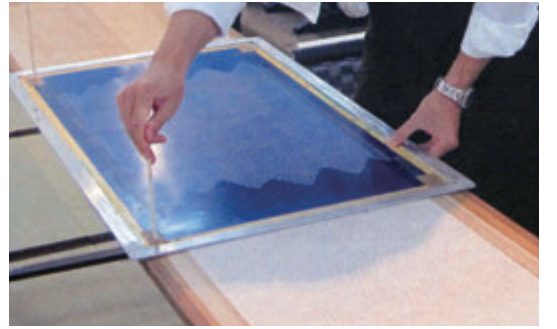
しやれいろ 秋の洒落彩展

会期 11月18日(金) 19日(土) 20日(日)
10:00～19:00 20日(日)のみ10:00～17:00
会場 松屋ビル2F ギャラリー

森尻 春司 型絵染の世界

「今という時代の様々なシーンにやさしく溶け込むきもの」
注目の若手染色デザイナー森尻春司氏の作風は、そんな表現がとても似合います。
日本独自の繊細な伝統美に都会的な香りを調和させる…氏の作品の“STYLE(スタイル)”は、遊び心や楽しさに満ちています。
型絵染ならではの技法を生かし、柔らかなモノトーンから鮮やかな色づかいまで、個性溢れるきものと帯は何とも魅力的。フォーマル・カジュアルという枠を取り払い、「きものの楽しさ」「コーディネートテクニック」など、ひとクラス上の「洒落の極意」を提案！
あなたが探し求めていた「高感度なおしゃれ」にきっと出会えることでしょう。
会期中は会場内に板場を再現し、森尻氏が型紙や型絵染の技法をわかりやすく解説します。

<展示作品> 訪問着、染着尺、染帯



松屋店長 近藤典子
型絵染工房見学記

森尻氏の案内で職人さんの型絵染の技を間近で見学。
板場に白生地を張り、精緻な型紙を寸分違わずに固定して、様々な種類の刷毛を使い、微妙な手加減をしながら色を刷り込む。色の数だけ用意された型紙で同じ作業を何度も繰り返す。
職人さんの熟練した技に感動し、腰を屈めての長時間重労働には頭が下がりました。
いい作品づくりには卓越した技と、とてつもない手間がかかることを改めて再認識させてくれました。

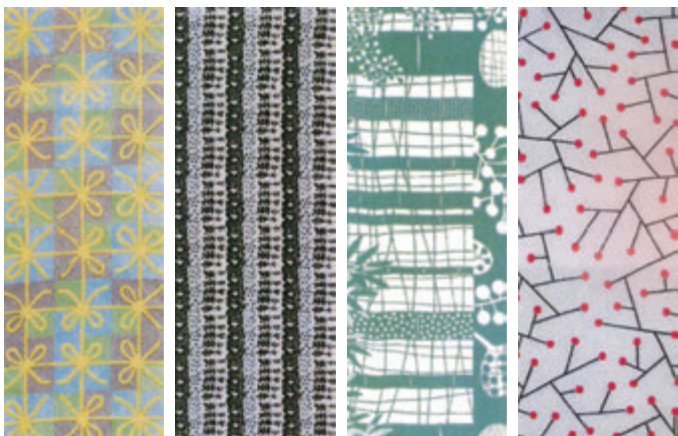
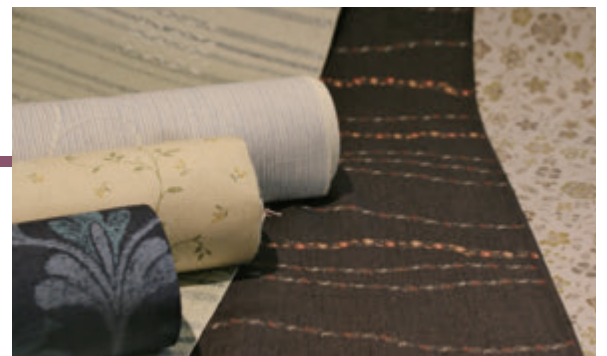
絹の穏やかな味わい、自然な風合い

憧れのしょうざん生紬 新作展

上州赤城山麓の民家で伝え継がれてきた「座繰り」で手引きした玉糸は、精練の段階でセリシン(蛋白繊維)をあえて残し、それが生成りの表情豊かな絹糸となる所以です。
そして織り上がった紬は、太細の節が独特の風合いと素朴な味わいをつくり出し、絹のしなやかさと麻のようなシャリ感を合わせ持った生紬となります。
この生紬に京友禅の技法で染め上げた個性的な色柄は、しょうざんならではの魅力溢れる作品となっています。
今回は新作・力作を一堂に集めてお披露目。憧れのしょうざん生紬に触れ、その素晴らしさを存分にお楽しみください。

<展示作品> しょうざん生紬(訪問着・着尺・帯)

京都洛北に位置する「しょうざん亭」は金閣寺まで歩いて15分。
その広大な敷地には自然を生かした名庭が付き、江戸時代にはあらゆる芸術に秀でていた本阿弥光悦を慕って多くの人々がこの地に集まり、芸術村を造り上げていたと言われています。現在では京都の人気観光名所として、毎年たくさんの人が訪れています。



<ご予約・ご来場プレゼント>
画家・デザイナー・イラストレーターたちの作品を染めぬいた
アートてぬぐい彩いろ
さてどんなワクワクするてぬぐいが集まるでしょう？
豊富な柄数からあなた様のお好みの作品を一点
お選びいただけます。どうぞお楽しみに！！

近日中に松屋スタッフよりお電話差し上げます。
準備の都合上、ご来店日時をお知らせください。

※掲載のてぬぐいはイメージです。



utsukusikimono matsuya

うつくしきもの



逗子銀座通り中央 逗子市逗子1-6-1
フリーダイヤル 0120-073-529 / TEL 046-873-1000
営業時間 AM10:00～PM7:00 毎週水曜定休

<http://matsuya.gr.jp>

うつくしきの松屋

検索

※当展示会にお車で越しのお客様は、松屋ビル提携駐車場「マイパーキング」をご利用ください。(無料駐車券をご用意しております) ※マイパーキングから松屋ビルまで約30m。